

2025 年 4 月 18 日

## The Emerging Markets Weekly

### ドルの続落が支援材料となりつつ、概ね堅調な動きに

**新興国市場:**先週末 11 日のアジア時間はドルの軟化を背景に堅調な推移。KRW は前日比+2.5%、THB と MYR は前日比+1.0%超上昇した。欧米時間、中国が米国の相互関税への対抗措置として対米追加関税を 84%から 125%に引き上げると発表し、ドルの重しとなった。ZAR が前日比+1.3%値を伸ばした。週初 14 日、アジア時間は大半が小幅な値動きにとどまった。欧米時間、ウォラールFRB 理事の発言を受けて株安が一服するなか、底堅い動き。RUB や ZAR、MXN は前日比+1.0%上昇した。15 日のアジア時間は方向感なく狭いレンジでの推移。PHP は上昇したが KRW が値を下げた。欧米時間、独経済指標の冴えない結果や米中貿易摩擦の悪化への懸念も重しとなり大半が下落。ZAR と BRL が売られた。16 日アジア時間、中国の市場予想を上回る経済指標の結果を好感し総じて堅調。THB は金価格の上昇が支えとなり前日比+1.1%、KRW も買われた。欧米時間、中国は米国と交渉の用意があるとの報道を受けてドルが一時上昇するも、パウエル FRB 議長の早期利下げに対する消極的な発言を背景に反落。新興国通貨は買われ MXN が上昇した。17 日のアジア時間、米金利の上昇を背景に概ね下落。THB と KRW が売られた。欧米時間、米国関税措置を巡る日米間の交渉に対する前向きな反応からリスク心理が改善。MXN や BRL など中南米通貨の持ち直しが目立った。

**アジア:**14 日公表の中国輸出は前年比+12.4%と前月のマイナスの伸び率からプラスに転じ、市場予想も大幅に上回った。他方、輸入は前年比▲同 4.3%と市場予想より悪化した。貿易収支は+1,026 億ドルの黒字となった。シンガポール金融通貨庁(MAS、中央銀行)は同日、市場予想通り前回 1 月会合に続き金融政策を緩和した。同国の 1~3 月期実質 GDP 成長率は前年比+3.8%と 10~12 月期から減速し、市場予想(同+4.5%)を下回った。また、2025 年の実質 GDP 成長率見通しを従来の前年比+1~3%から同+0~2%に引き下げた。15 日発表のインド 3 月消費者物価指数(CPI)は前年比+3.34%と前月から鈍化し、市場予想も下ぶれた。16 日公表の中国 1~3 月期実質 GDP 成長率は前年比+5.4%と 10~12 月期から伸び率は横ばい、市場予想(同+5.2%)は上振れた。韓国銀行(BOK、中央銀行)は政策金利を 2.75%に据え置くことを決定した。

**中東欧・アフリカ:**トルコ中央銀行(CBRT)は 17 日政策金利を 42.50%から 46.00%へ引き上げた。CBRT は利上げの要因として慢性的な TRY 安に伴うインフレ再燃リスクや金融市場の安定化を図る上での対応であることを説明した。

**ラテンアメリカ:**11 日公表のブラジル 3 月消費者物価指数(IPCA)は前年比+5.48%と市場予想を上回り、2023 年 2 月以来の高水準となった。アルゼンチン政府は 11 日に IMF から総額 200 億ドルの融資を受けることで合意し、14 日から資本や為替に関する規制の一部解除を始めた。ARS は規制解除を受けて、週間で▲5.6%下落した。

国際為替部  
シニアマーケット・エコノミスト  
堀 堯大  
03-3242-7065  
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

マーケット・エコノミスト  
長谷川 久悟  
03-3242-7065  
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

大島 由喜  
03-3242-7065  
yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

欧州資金部  
シニア為替ストラテジスト  
中島 将行  
masayuki.nakajima@mizuhoemea.com

## 市場概観(シンガポール)

### 先行きの景気下振れリスクを見越して、連続で金融緩和を決定

国際為替部  
シニアマーケット・エコノミスト  
堀 堯大  
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

シンガポール金融通貨庁(MAS、中央銀行)は 14 日、定例の金融政策会合を開催し、前回 1 月会合に続いて金融緩和を決定した。MAS は通常、会合の度に S\$NEER(名目実効為替レート)の政策バンドの中央値及び幅、政策バンドの傾斜を検討するが、今回会合では政策バンドの上方向への傾斜を再度緩やかにすることを決定した(図表 1)。

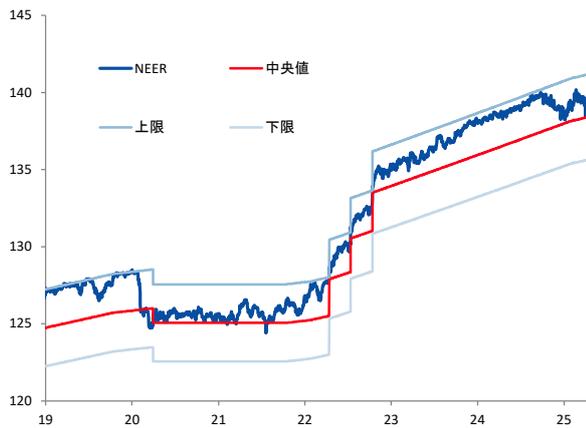
会合と同時に公表された 25 年 1~3 月期実質 GDP 成長率(季節調整前)は前年同期比+3.8%と前四半期の同+5.0%から減速した(図表 2)。業種別では製造業が 10~12 月期の同+7.4%から同+5.0%へ、サービス業についても同+4.6%から同+3.4%へ減速しており、前回会合で MAS は「先行きにかけての世界各国の貿易取引の姿勢の変化が製造業をはじめ外需関連部門に影響を与える」と懸念していたが、数字の上でも実体経済へ波及しつつあることが見て取れる。また、25 年通年の成長予想に関しても、MAS は 1 月の前年比+1.0~3.0%から同+0.0~+2.0%へ下方修正しており、足許の米国の通商政策と貿易摩擦の深刻化が今後も景気成長の重しになるとの見方を示している。

インフレの状況について、直近公表の 2 月消費者物価指数(季節調整後、CPI)は前年比+0.9%、MAS が物価動向の判断材料として重視する民間道路輸送と住居費を除くコアベースでは同+0.6%と昨年後半から着実に鈍化している(図表 3)。個人消費の鈍化に付随して幅広い品目でのインフレ減速が確認されており、特にコアベースについては、21 年 6 月以来の低水準で推移した。MAS は国内の需給ギャップがマイナスになること、輸入物価の下落などを理由に今後も物価の下押しリスクは強まるとしており、25 年総合・コアインフレ予想を前年比+0.5~+1.5%へ引き下げた。なお、1 月会合時点では総合インフレを+1.5~+2.5%、コアベースは同+1.0~+2.0%としていた。

以上、先行きにかけて景気鈍化とインフレ減速が見込まれる中で MAS は 2 会合連続で金融緩和を決定した。MAS は国内外の景気動向を注視していく姿勢を強調したが、特に物価の観点では金融緩和の度合いを強めても良いようにも思える。しかし、米国の通商政策があまりに不透明であるため、積極的な対応をとれなかった印象があり、次回会合での追加緩和の可能性を大いに含むものであると思われる。

足許の SGD の対ドルの動きをみると、引き続きドルや人民元など外的要因に左右される相場になっている(図表 4)。米国の相互関税発動は一部を除き延期されたが、シンガポールは ASEAN 諸国の中でも珍しく対米貿易赤字国であるため、個別の標的となることは考えにくい。こうした点を考えると、域内通貨の中でも比較的风险に強い通貨になり得るとの見方はある。しかし、中国をはじめ米国との貿易摩擦の深刻化は貿易立国のシンガポールにとってネガティブな話であることには変わりはなく、事態が悪化すれば金融政策も今後ハト派傾斜していくことが予想されるため、大きな上がり目があるとも言いづらい。以上を踏まえて、4~6 月期はある程度値幅を持った動きを想定しており、対ドルで 1.31~1.39 を見込む。

図表 1: S\$NEER と政策バンドの推移



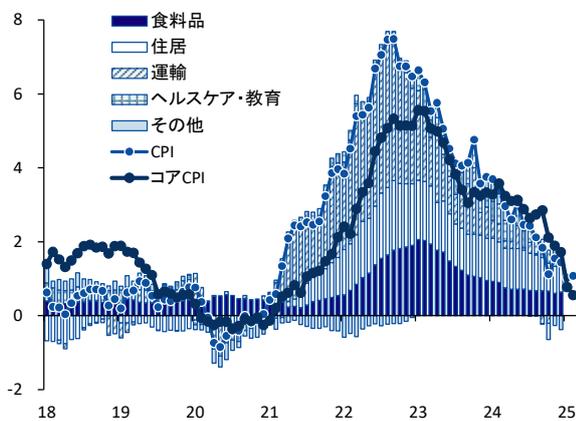
出所: Bloomberg、みずほ銀行 ※2001/7=100

図表 2: 実質 GDP 成長率の推移 (前年比%、%ポイント)



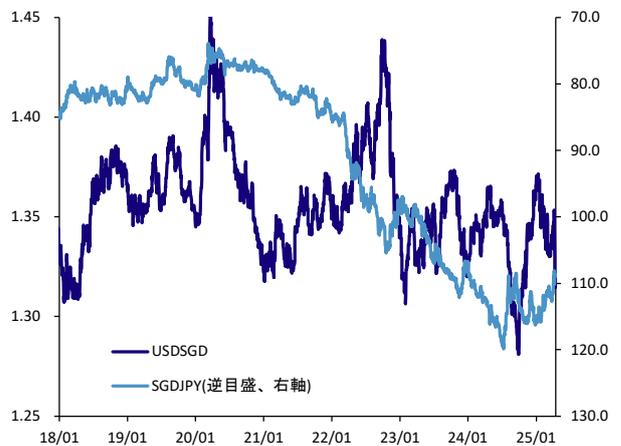
出所: CEIC、みずほ銀行 ※25年1~3月期は成長率のみ

図表 3: 消費者物価指数の動向 (前年比%、%ポイント)



出所: Macrobond、みずほ銀行  
注: 25年1月以降はCPI・コアCPIのみ

図表 4: SGD の動向



出所: Bloomberg、みずほ銀行

## 市場概観(中国)

# 2025年中国経済の現状～輸出前倒しの反動が大きな懸念材料に

国際為替部  
シニアマーケット・エコノミスト  
堀 堯大  
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

### 米中貿易摩擦の深刻化の影響は今後顕著に

16日に公表された25年1～3月期実質GDP成長率は前年同期比+5.4%と24年10～12月期から横ばいとなったものの、市場予想の同+5.2%を上回った(図表1)。業種別でみると、第2次産業が同+5.9%と前四半期の同+5.2%から加速した(図表2)。図表3に示される通り、鉱工業生産が輸出に付随する格好で堅調さを保った。特に3月の輸出は前年比+12.4%と昨年10月以来の強い数字を記録した。しかし、この結果は米中貿易摩擦の深刻化を見越した動きであると推測され、一過性要因として近い将来に剥落していく可能性は高い。米国向けの輸出は前年比では同+9.1%となっているものの、金額ベースでは旧正月の影響があった2月を除いて約1年ぶりの低水準に留まっている。図表4に示される通り、3か月間の比較では輸出のピークアウトの傾向が色濃く出つつあり、4月以降は米国の対中関税は累計で145%が課されることから、前年からの反動が一層強まるものと予想される。第3次産業は同+5.3%と前四半期の同+5.8%から減速。引き続き不動産が足を引っ張ったと推測され、同日に公表された不動産関連指標では、3月の新築住宅価格や不動産投資は前年比でマイナス推移が継続(図表5)。昨年後半にはローン金利の引き下げやローンの頭金要件も緩和されたものの、政策効果は依然限定的だ。片や、3月小売売上高は市場予想の前年比+4.3%を上回る、同+5.9%を記録した。こちらは政府の耐久財の買換え政策の効果が一定程度現れた格好だが、消費者心理が低位安定している状況下、その勢いが持続するかは疑問が残る(図表6)。今後公表される詳細項目の確認の必要はあるが、引き続き外需頼りの経済動向は変わらず、今後の米通商政策をはじめ世界貿易情勢に大きく影響される不安は残る状況だ。

物価について、3月消費者消費者物価指数(CPI)は前年比▲0.1%と2月に続いてマイナス圏に落ち込んだ(図表7)。2月に関しては旧正月の影響によって落ち込んだ側面もあったが、食料品やエネルギー価格の軟化が消費者物価を押し下げている構図だ。強い結果を示している輸出に対して、3月の輸入は前年比▲4.3%と勢いを欠いており、ここでも内需の弱さが影響している。なお、コアベースについては、同+0.5%となっているが、総合・コアベースとも先月の全人代で掲げられた+2.0%の目標からは依然距離がある。

### 4月のCNY相場について

4月のCNY相場は米中貿易摩擦の深刻化懸念から月前半にかけて大きく売られる時間帯が見られた(図表8)。本稿作成時点では両国が貿易摩擦解消に向けた交渉に取り組むことには期待しにくく、こうした状況に神経質な相場となっている点は否めない。こうした相場環境は第1次トランプ政権下において米中貿易摩擦がテーマ化した2019年の相場にも近い印象がある。参考までに、図表9では、2019年のCNY相場の動きを示しているが、直近の相場と同様に金利差の観点で人民元にとって有利な状況が続いたものの、実際にはドルが優勢な値動きとなっている。こうした相場が再来するという確証はないものの、両国の関税競争は当時と比較して非常に激化しており、4～6月期のCNY相場は対米貿易交渉の動向に左右される時間帯が続くそうである。同時に、ここまで為替の説明要因となってきた両国の金利差や

需給動向があまり機能しない可能性も出てきている。

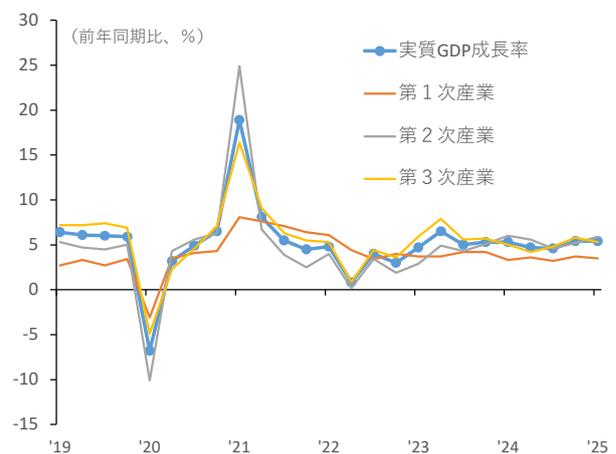
今年の相場に話を戻すと、4月に入りドルインデックスの急落を受けて円やユーロなど幅広くドル高方向に推移しているが、人民元をはじめ新興国通貨にまで影響が波及しているとは言い難い(図表10)。市場が急速にリスクオフに傾く状況下、その渦中にあるCNYが積極的に買われる展開は今のところ想定しにくい。当局がある程度の通貨安を受け入れつつある中で、CNYにとっては米国経済の一層の減速懸念や米国の通商政策の変化などに起因するドルの下落が数少ない拠り所になっていくと思われる。

図表 1: 実質 GDP 成長率の推移 (前年比%、%ポイント)



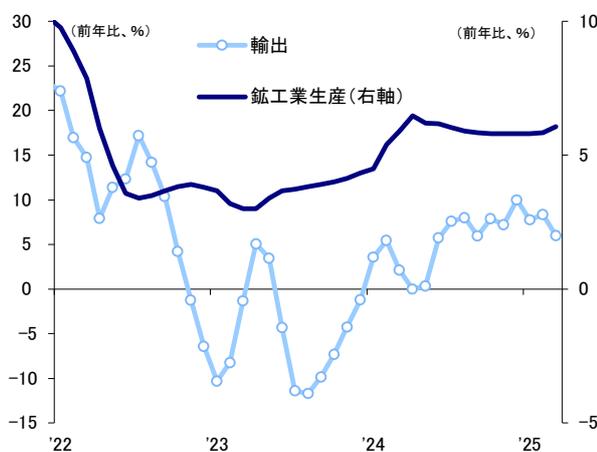
出所: Macrobond、みずほ銀行 注: 25年1~3月期は成長率のみ

図表 2: 実質 GDP 成長率の推移 (業種別)



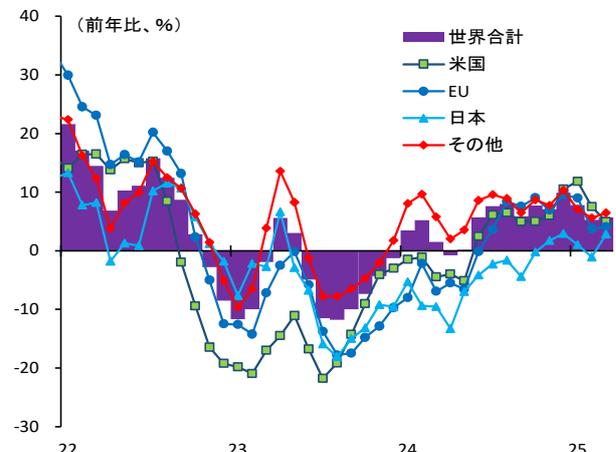
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 3: 鉱工業生産と輸出動向



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行 注: 後方3か月移動平均

図表 4: 国・地域別の輸出実績



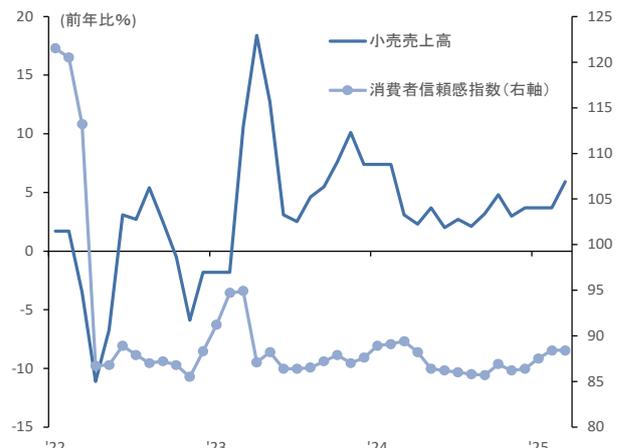
出所: Macrobond、みずほ銀行 注: 後方3か月移動平均

図表 5: 新築住宅価格と不動産投資



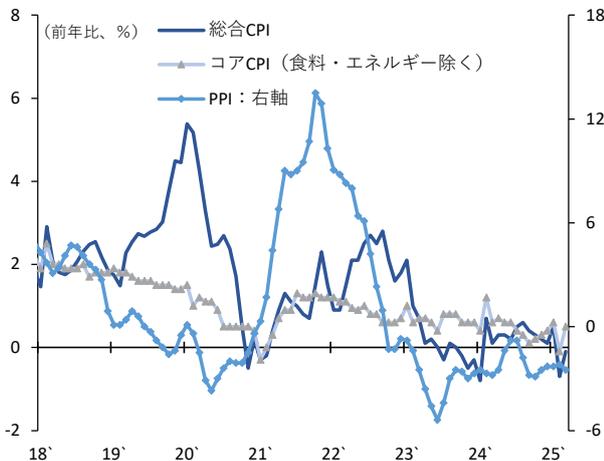
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 6: 小売売上高と消費者心理の動向



出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 7: 消費者物価指数と生産者物価指数



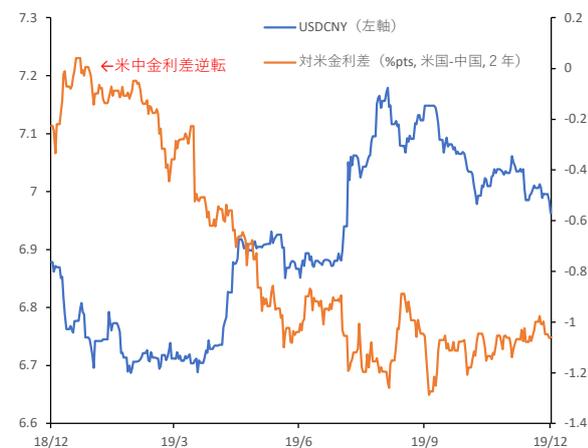
出所:Macrobond、みずほ銀行

図表 8: CNY相場と対米金利差(2年金利)



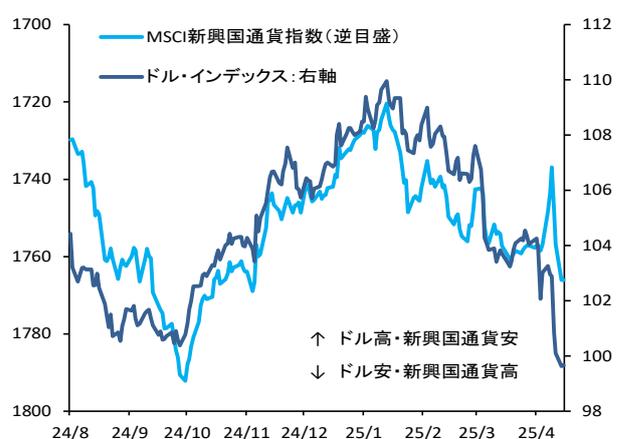
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 9: 2019年の人民元相場と対米金利差



出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 10: ドルインデックスと新興国通貨インデックス



出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

## 市場概観(韓国)

# BOK は利下げを見送り、米通商政策やインフレ再燃リスクを注視

国際為替部  
シニアマーケット・エコノミスト  
堀 堯大  
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

韓国銀行(中央銀行、BOK)は 17 日、金融通貨委員会を開催し、政策金利(7 日物レポ金利)を従来の 2.75%に据え置いた(図表 1)。委員会メンバー 6 人のうち 5 人が現状維持を支持、残り 1 名は利下げを主張していた。BOK は昨年利下げ路線に転換してから累計で 3 度政策金利を引き下げている。なお、ブルームバーグの事前予想では現状維持が優勢であった。

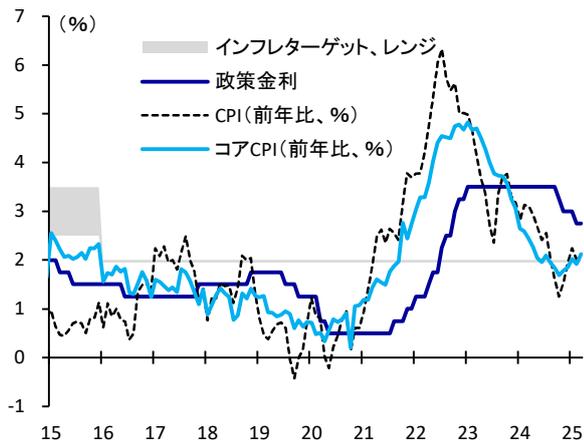
声明文では世界経済の成長について、米国の関税政策への懸念を強く指摘した。また、米国の通商政策は国内経済にも影響が及ぶものとしており、前回 2 月会合の時点で前年比+1.5%としていた成長予測から更に下振れる可能性にも言及した。一方で、米国の通商政策は非常に不透明が強いこと、韓国政府が景気刺激策として 12 兆ウォン規模の補正予算を編成していることなどを踏まえて、2 月会合に次ぐ利下げは見送った格好だ。

物価動向について、直近の 3 月消費者物価指数(CPI)は前年比+2.1%、農産品や石油類を除いたコア CPI は同+1.9%となった(図表 2)。総合・コアベースとも BOK のインフレ目標(+2.0%)近辺での推移が続くが、年初以降インフレが下げ止まっているようにも見える。特筆して物価を押し上げる要因は見当たらないものの、サービス価格を中心に一定の物価押し上げ圧力が残る。先行きにかけて、KRW が安値圏を推移したこともあり、KRW 安を通じた輸入物価上昇も警戒される地合いにある(図表 3)。短期的なインフレ期待は 2.7%と BOK の物価目標を上回る水準にあるが、BOK は年後半にかけて内需の鈍化や資源価格の軟化の影響で+2.0%近辺に収束すると予想している。

かかる中、BOK は景気動向を注視しつつ、物価をインフレ目標に収束させるために金融政策の現状維持を決定した。これは前回会合までの利下げの効果の確認のほか、国内外の動向を注視したい BOK の思惑に合致していると思われる。今後の運営について、委員会メンバーの 6 人全員が今後 3 か月以内の追加利下げに前向きな姿勢を示している。また、李 BOK 総裁が景気成長を下支えする上で年内に少なくとも 2 回の利下げが必要と言及しており、金融政策運営がハト派に傾いていることは確実だ。一方で、足許の KRW 相場がやや値幅を持った動きとなっていることから BOK は為替相場の安定化に注力していく方針を示している。引き続き KRW 安が輸入インフレに繋がる可能性が残る以上、その重要性は決して低くない。

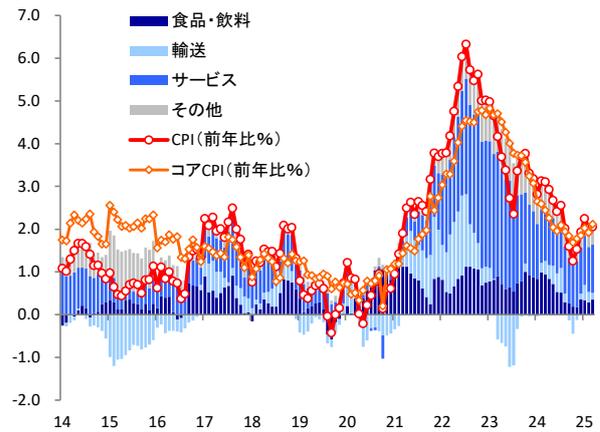
足許の KRW 相場は対ドルで月前半に 1490 に近づく時間帯もあったが、1420 近辺まで値を戻している(図表 4)。しかし、KRW 相場の風向きが変わったとは考えていない。引き続き、米国の通商政策の動向、国内の政治動向など複数の不確実性が共存する中で、不安定な相場は続く予想される。前述の国内景気減速懸念もあいまって、大統領選挙が実施される 6 月いっぱいには安値方向の動きに特に注意したいところだ。

図表 1: 政策金利とインフレ率



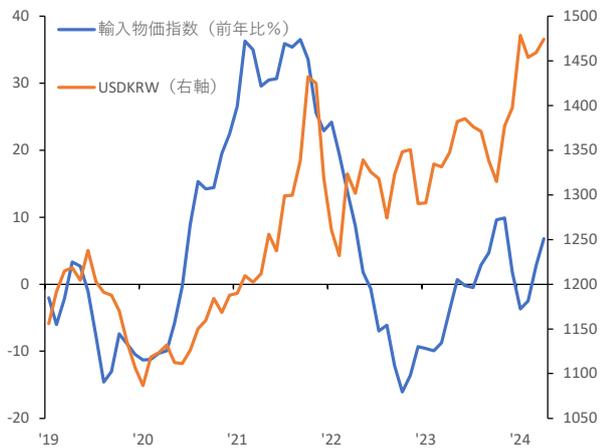
出所: BOK、CEIC、みずほ銀行

図表 2: 消費者物価指数の動向(前年比%、%ポイント)



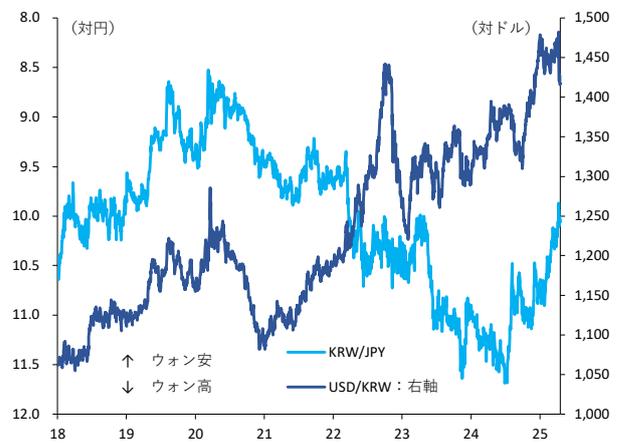
出所: CEIC、みずほ銀行

図表 3: 輸入物価と KRW 相場



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

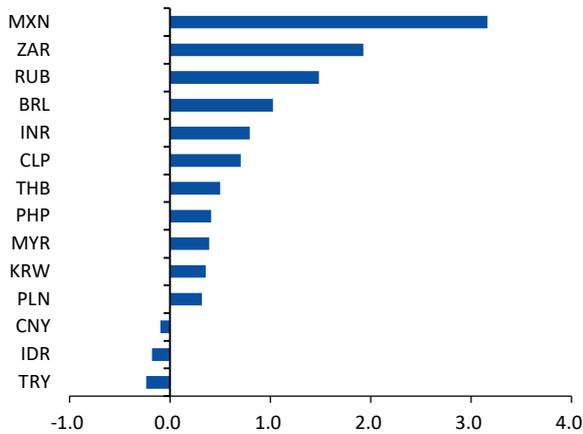
図表 4: KRW 相場の動向



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

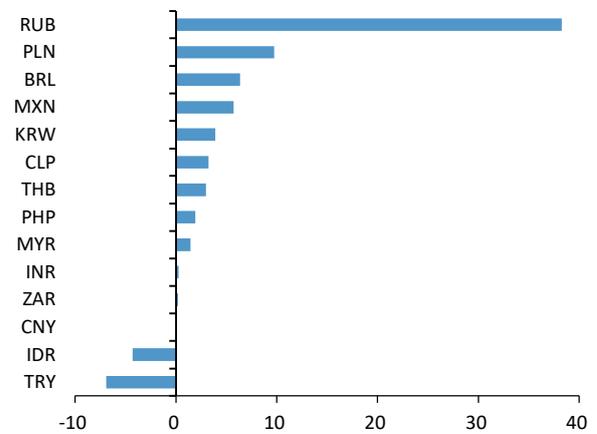
## 資産別騰落率

為替週間騰落率(対ドル、%)



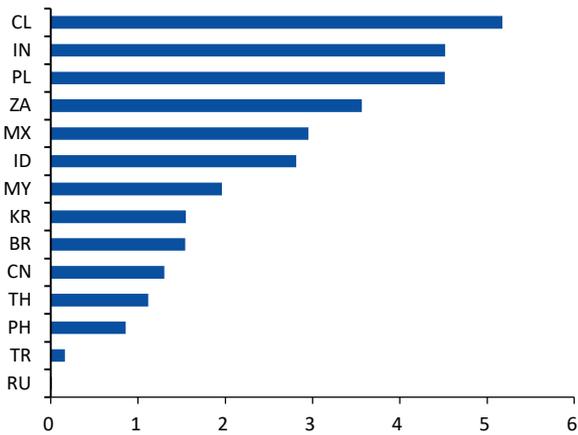
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

為替年初来騰落率(対ドル、%)



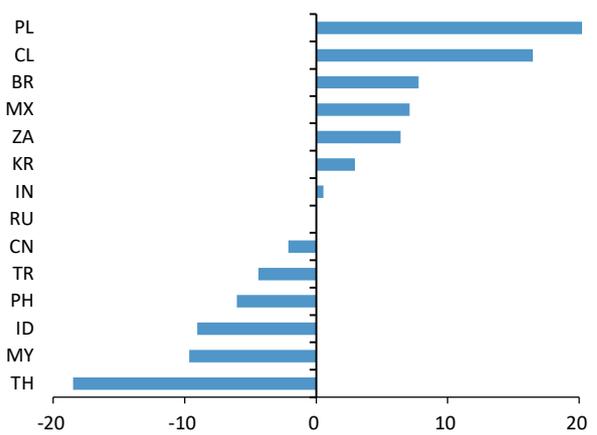
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

株価週間騰落率(%)



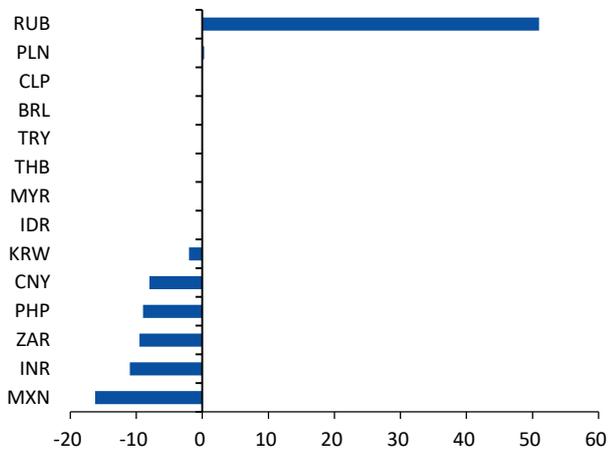
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

株価年初来騰落率(%)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

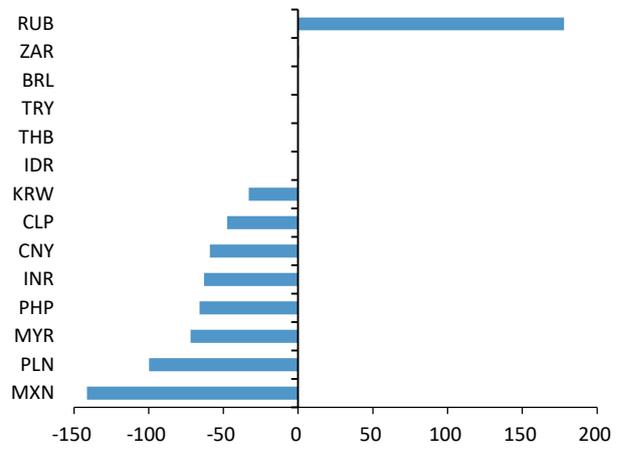
5年物スワップレート週間変化(bp)



注: データの都合によりタイ、ブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

5年物スワップレート年初来変化(bp)

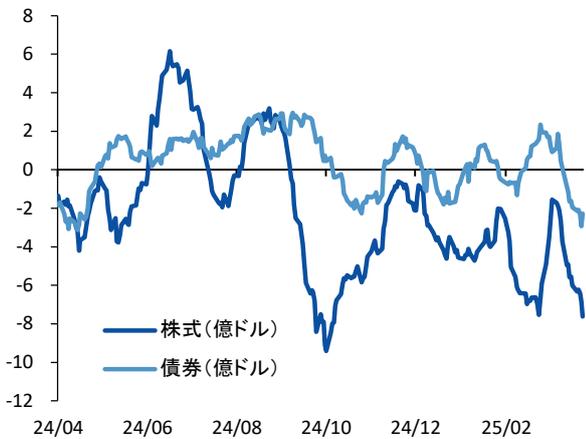


注: データの都合によりタイ、ブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

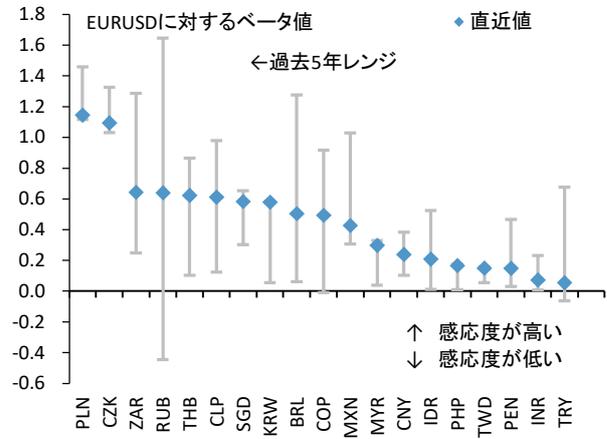
チャート集

主要新興国への証券投資(4週間移動平均)



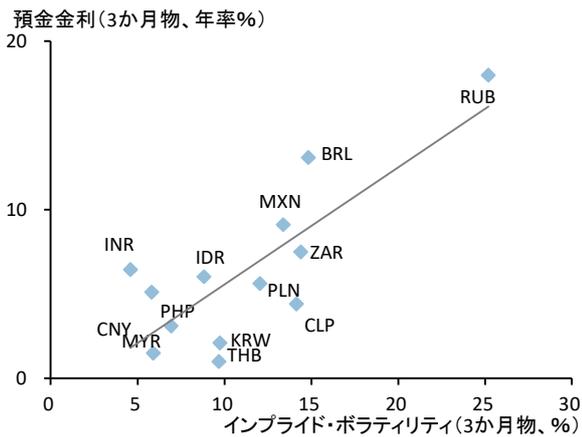
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

EM通貨(対ドル)のEURUSDに対する感応度(過去12か月)



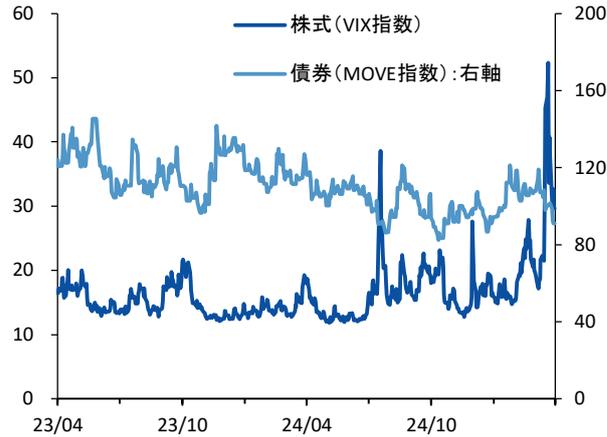
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国の預金金利と為替ボラティリティ



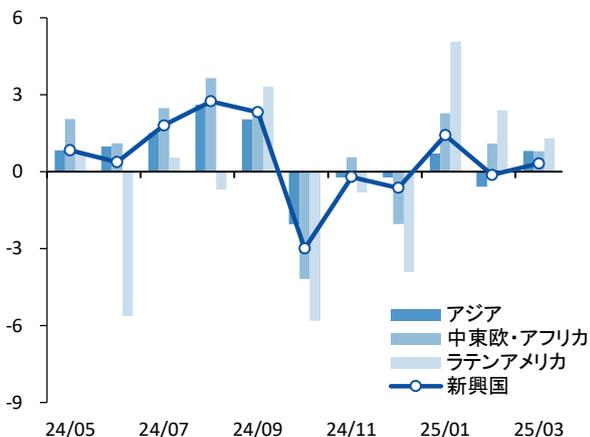
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

株式と債券のボラティリティ(VIX指数、MOVE指数)



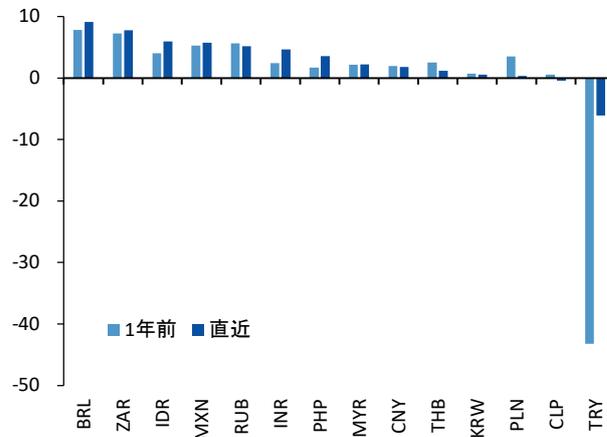
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国現地通貨建て国債月次パフォーマンス(%)



出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

実質金利(10年物国債金利 - 消費者物価上昇率、%)



出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

## 新興国経済カレンダー

日付	国	経済指標・イベント	市場予想	発表値	前回値	修正値
<b>エマージングアジア</b>						
4月14日 (月)	シンガポール	GDP(前年比)	4.5%	3.8%	5.0%	--
14日 (月)	中国	貿易収支	\$75.15b	\$102.64b	\$31.72b	--
15日 (火)	インド	卸売物価(前年比)	2.5%	2.1%	2.4%	--
15日 (火)	インド	CPI(前年比)	3.5%	3.3%	3.6%	--
15日 (火)	インド	輸入(前年比)	--	11.4%	-16.3%	--
15日 (火)	インド	輸出(前年比)	--	0.7%	-10.9%	--
15日 (火)	フィリピン	Overseas Cash Remittances YoY	2.9%	2.7%	2.9%	--
16日 (水)	韓国	輸出物価指数(前年比)	--	6.3%	6.3%	--
16日 (水)	中国	鉱工業生産(前年比)	5.9%	7.7%	--	--
16日 (水)	中国	GDP(前年比)	5.2%	5.4%	5.4%	--
16日 (水)	中国	小売売上高(前年比)	4.2%	5.9%	--	--
16日 (水)	中国	固定資産投資(除農村部/年初来/前年比)	4.1%	4.2%	4.1%	--
17日 (木)	シンガポール	非石油地場輸出(前年比)	11.9%	5.9%	7.6%	--
17日 (木)	韓国	BOK Base Rate	2.75%	2.75%	2.75%	--
18日 (金)	マレーシア	GDP(前年比)	4.9%	--	5.0%	--
18日 (金)	マレーシア	輸出(前年比)	-2.7%	--	6.2%	--
21日 (月)	中国	1年貸出プライムレート	3.10%	--	3.10%	--
21日 (月)	中国	5年貸出プライムレート	3.60%	--	3.60%	--
21日 (月)	インドネシア	貿易収支	--	--	\$3117m	--
21日 (月)	フィリピン	総合国際収支	--	--	\$3086m	--
21-26日	タイ	貿易収支(通関ベース)	--	--	\$1988m	--
22日 (火)	韓国	PPI 前年比	--	--	1.5%	--
22日 (火)	台湾	輸出受注(前年比)	--	--	31.1%	--
23日 (水)	韓国	消費者信頼感	--	--	93.4	--
23日 (水)	マレーシア	CPI(前年比)	--	--	1.5%	--
23日 (水)	シンガポール	CPI(前年比)	--	--	0.9%	--
23日 (水)	インドネシア	BI-Rate	--	--	5.75%	--
23日 (水)	台湾	鉱工業生産(前年比)	--	--	17.9%	--
24日 (木)	韓国	GDP(前年比)	--	--	1.2%	--
24-30日	韓国	百貨店売上高(前年比)	--	--	-3.6%	--
25日 (金)	シンガポール	鉱工業生産(前年比)	--	--	-1.3%	--
<b>中東欧・アフリカ</b>						
4月14日 (月)	トルコ	経常収支	-4.40b	-4.41b	-3.80b	-4.00b
16日 (水)	南ア	小売売上高(実質値、前年比)	6.6%	3.9%	7.0%	--
17日 (木)	ロシア	PPI 前年比	--	5.9%	9.8%	--
17日 (木)	トルコ	1週間レポレート	42.50%	46.00%	42.50%	--
23日 (水)	南ア	CPI(前年比)	--	--	3.2%	--
24日 (木)	ロシア	鉱工業生産(前年比)	--	--	0.2%	--
24日 (木)	トルコ	製造業景況感指数(季調前)	--	--	104.1	--
24日 (木)	トルコ	設備稼働率	--	--	74.4%	--
24日 (木)	南ア	PPI 前年比	--	--	1.0%	--
25日 (金)	ロシア	主要金利	--	--	21.00%	--
<b>ラテンアメリカ</b>						
4月23日 (水)	メキシコ	小売売上高(前年比)	--	--	2.7%	--
25日 (金)	ブラジル	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	--	--	5.3%	--
25日 (金)	メキシコ	経済活動IGAE(前年比)	--	--	-0.1%	--

注:2025年4月18日現在、信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性を全面的に保証するものではありません。  
出所:ブルームバーグ、みずほ銀行

## 為替相場見通し

	2025年 1～3月(実績)	SPOT	2025年 6月	9月	12月	2026年 3月	6月
<b>対ドル</b>							
<b>エマージングアジア</b>							
中国人民元 (CNY)	7.2164 ~ 7.3328	7.2992	7.38	7.23	7.12	7.12	7.15
香港ドル (HKD)	7.7666 ~ 7.7955	7.7632	7.76	7.75	7.76	7.77	7.78
インドルピー (INR)	85.408 ~ 87.950	85.378	87.8	86.5	86.0	86.0	86.3
インドネシアルピア (IDR)	16130 ~ 16653	16834	16450	15800	15400	15230	15300
韓国ウォン (KRW)	1424.05 ~ 1477.46	1420.00	1460	1450	1420	1400	1380
マレーシアリング (MYR)	4.3675 ~ 4.5185	4.4075	4.53	4.30	4.12	4.14	4.15
フィリピンペソ (PHP)	57.130 ~ 58.715	56.634	59.6	57.2	56.5	56.3	56.5
シンガポールドル (SGD)	1.3279 ~ 1.3751	1.3107	1.37	1.34	1.32	1.32	1.32
台湾ドル (TWD)	32.602 ~ 33.227	32.499	33.0	32.8	32.5	32.3	32.3
タイバーツ (THB)	33.37 ~ 34.84	33.36	35.2	34.3	33.6	33.3	33.4
ベトナムドン (VND)	25038 ~ 25651	25874	25750	25100	24700	24680	24700
<b>中東欧・アフリカ</b>							
ロシアルーブル (RUB)	80.9668 ~ 114.7788	82.1125	82.0	80.0	84.0	88.0	92.0
南アフリカランド (ZAR)	18.0018 ~ 19.2296	18.8106	18.2	18.4	18.6	18.8	19.0
トルコリラ (TRY)	35.2419 ~ 41.2972	38.0545	38.0	38.0	40.0	41.0	42.0
<b>ラテンアメリカ</b>							
ブラジルリアル (BRL)	5.6325 ~ 6.2270	5.8068	5.85	5.80	5.85	5.95	6.00
メキシコペソ (MXN)	19.8473 ~ 21.2932	19.7008	20.8	20.7	20.6	20.4	20.2
<b>対円</b>							
<b>エマージングアジア</b>							
中国人民元 (CNY)	20.208 ~ 21.666	19.515	20.73	21.30	21.77	21.91	21.40
香港ドル (HKD)	18.867 ~ 20.403	18.341	19.72	19.87	19.97	20.08	19.67
インドルピー (INR)	1.678 ~ 1.848	1.668	1.74	1.78	1.80	1.81	1.77
インドネシアルピア (100IDR)	0.894 ~ 0.981	0.846	0.930	0.975	1.006	1.024	1.000
韓国ウォン (100KRW)	10.052 ~ 10.916	10.028	10.48	10.62	10.92	11.14	11.09
マレーシアリング (MYR)	33.082 ~ 35.699	32.309	33.77	35.81	37.62	37.68	36.87
フィリピンペソ (PHP)	2.552 ~ 2.726	2.523	2.57	2.69	2.74	2.77	2.71
シンガポールドル (SGD)	110.00 ~ 116.09	108.65	112.09	115.36	117.60	118.36	116.08
台湾ドル (TWD)	4.452 ~ 4.843	4.382	4.64	4.70	4.77	4.83	4.74
タイバーツ (THB)	4.322 ~ 4.653	4.269	4.35	4.49	4.61	4.68	4.58
ベトナムドン (100VND)	0.5743 ~ 0.6253	0.5504	0.59	0.61	0.63	0.63	0.62
<b>中東欧・アフリカ</b>							
ロシアルーブル (RUB)	1.370 ~ 1.851	1.734	1.87	1.93	1.85	1.77	1.66
南アフリカランド (ZAR)	7.960 ~ 8.525	7.570	8.41	8.37	8.33	8.30	8.05
トルコリラ (TRY)	3.613 ~ 4.481	3.738	4.03	4.05	3.88	3.80	3.64
<b>ラテンアメリカ</b>							
ブラジルリアル (BRL)	25.032 ~ 26.888	24.519	26.15	26.55	26.50	26.22	25.50
メキシコペソ (MXN)	7.065 ~ 7.790	7.229	7.36	7.44	7.52	7.65	7.57

注: 1. 実績の欄は2025年3月31日まで。SPOTは4月18日の9時00分頃。

2. 実績値はブルームバーグの値。

3. 予想の欄は四半期末の予想。

出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。